

# 南の風

—第4号—

蝉の声が賑やかになり、本格的な夏の訪れを感じます。明日からはいよいよ夏休みです。入院中で、コロナ禍ということもあり、制限が多い生活になるとは思いますが、児童・生徒、保護者の皆様にとって夏休みが少しでも楽しく充実したものになりますよう、願っております。

今月は、「病弱教育を考える」として小学部の取り組みを、そして中学部の学校生活の様子をお伝えします。

## 病弱教育を考える

### 仲間とともに成長しよう ～小学部の取り組み～

小学部では、“肢体不自由児施設”入所と“こころ病棟”入院の児童を1組、“本館病棟”入院の児童を2組としています。授業は基本的に、1組は教室登校か面会で、2組は教員が病棟に行く形で行います。

皆それぞれ、治療のために入所・入院しているのですから、地域で生活している時と同じようには過ごせません。元々制約が多い環境の上に、昨年度からはコロナ感染症対策も加わってさらに制限が厳しくなり、ストレスも溜まってきています。それでも、小学部では児童も教員もいろいろな工夫を重ね、少しでも楽しく学校生活を送れるよう頑張っています。

工夫の一つに、ICT機器を使って1組と2組をつなぐ授業があります。本校ではコロナ以前から取り組んできたことですが、昨年度からはいっそう必要性が増してきている授業形態です。

つなぐ教科は様々です。例えば、国語で音読の成果を発表したり、算数で文章題を考えて問題を出し合ったり、生活で1組が育てた野菜を2組が観察したり。時には、図工の作品紹介や、なぞなぞを出して楽しむ時間も作っています。初めは緊張している児童たちですが、「同じ勉強をしている」「同じ学年の友だち」と少しずつ気持ちが近づき、笑顔での会話が増えていきます。

勉強も遊びも、一人でできないことではないけれど、仲間と一緒にならいっそう頑張れるものですよね。まだしばらくの間、直接会うことは難しいですが、少しでもお互いの存在を感じ、学び合いをとおして成長できるよう、教員たちもしっかりサポートしていきたいと思っています。

小学部長 金澤 園子

## 学校生活 中学部

4月5日からはじまった1学期が、今日で終わりました。

今年度は感染症対策をしながら、学部集会や自立活動、委員会活動など全学年がそろった活動も行えるようになり、普段は一緒に活動することのない生徒たちが交流する場面が多く見られました。5月の生徒総会では代表委員が中心となって、生徒全員でマジカルバナナやなぞ解きゲームに挑戦し、みんなで同じ時間を共有し、楽しむことができました。司会進行やルール説明などで緊張した代表委員の生徒たちの顔、緊張しながらも先輩とコミュニケーションをとる1年生の顔など、昨年度は見られなかった生徒たちの表情が見られました。7月にはスポーツ大会を行いました。卓球や、紙筒で塔を作るバベルの塔、ボウリングで体を動かしました。声での応援ができないので、拍手やガッツポーズで気持ちを表現する姿がとても印象的でした。2学期以降も感染症対策に気をつけながら、生徒たちと一緒に、みんなで楽しめる活動を行っていききたいと思います。



### 9月行事予定

1日 始業式 午前日課	13日～24日 学習発表展(渡り廊下)
2日～通常日課	15日 健康教育「感染予防」(小学部2組)
6日～10日 個人面談期間(重心)	16日 インターネット安全教室 (小学部5・6年 中学部)
8日 健康教育「感染予防」(小学部1組)	17日 授業参観・授業評価
10日 健康教育「感染予防」(小学部2組)	29日 健康教育「感染予防」(中学部)

#### お知らせ

児童・生徒が新型コロナワクチン接種を課業日に行う場合や接種後の体調不良で欠席する場合「校長が出席しなくてよいと認めた日」あるいは学校保健安全法上の「出席停止」となりますので、お申し出ください。

横浜南養護学校 ホームページ

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>